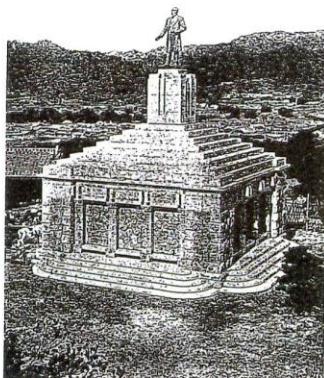


5 大倉山公園と青丘文庫

大倉山公園はJR神戸駅の北に位置する、グラウンドや神戸市立中央図書館がある市民の憩いの場である。この公園はホテルオークラなどでも知られる大倉喜八郎の別荘であったものを、後に神戸市に寄付したものである。大倉は朝鮮大倉農場を経営するなど、朝鮮を舞台として富を築いた。大倉と初代兵庫県知事であり、かつ初代朝鮮統監府の統監であつた伊藤博文とは関係が深いが、その大倉山公園に伊藤博文の銅像があつたのである。いきさつは次のようなものである。

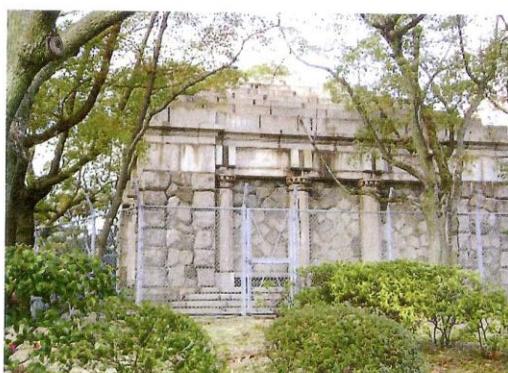


伊藤博文の銅像

明治の終わ
りごろ、桂太
郎首相や財界
が、首相を四
回も務めた伊
藤博文の銅像
を作った。設
置場所に伊藤
湊川神社を

希望したので、一九〇四（明治三七）年一〇月二二日、湊川神社の本殿右側に設置された。しかし、日露戦争後のポーツマス条約の内容に怒った民衆が、一九〇五（明治三八）年九月七日、その銅像を倒してしまった。朝鮮を植民地化するのに功績をなした伊藤は、朝鮮人からみれば民族の敵である。

伊藤は朝鮮統監の在任中の一九〇九（明治四二）年一〇月二六日、ハルビンで朝鮮人の独



伊藤博文の像のあった台座

立運動家安重根（アンジュン）によつて射殺された。伊藤死亡を契機に銅像再建の話がもちあがり、神戸を見渡せる諏訪山公園に再建することになった。しかし大倉はその場所が不便であり、訪れる人も少ないのであらうから、自身所有の大倉山を神戸市に寄付してそこに建てることになった。そしてその像は一九一（明治四四）年九月に完成した。

ところが皮肉なことに太平洋戦争の時期に「金属供出」によってこの像も提供されてしまい、現在はその立派な台座だけが残っている。

神戸市立中央図書館は、地元の人は大倉山図書館と親しみをこめて呼んでいる。阪

神・淡路大震災後に増築

工事が行われ、別館特別

室に朝鮮史の図書館「青

丘文庫」が入つた。この

文庫は実業家であり朝鮮

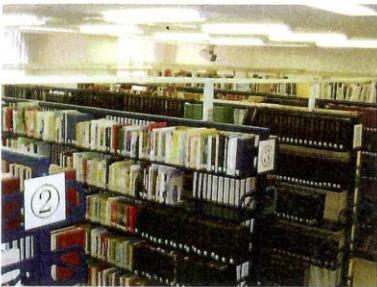
キリスト教史の研究者で

もあつた故韓哲曠氏が、

長年収集してきた約三万

点のコレクションを收め

たもので、日本国内で朝



青丘文庫の内部



大倉山公園

伊藤博文像台座

神戸市中央区楠町 7

TEL: 078-341-6648

青丘文庫（神戸市立中央図書館）

神戸市中央区楠町 7-2-1

TEL: 078-371-3351

（飛田雄一）